



Hosei University

・2018年度・

学生が選ぶ  
ベストティーチャー賞

実施報告



法政大学  
教育開発支援機構

2018年度 法政大学  
**学生が選ぶベストティーチャー賞**

**みんなで育てる「ベストティーチャー」賞**

一年生のみなさんははじめてでしょうが、ベストティーチャー賞はすでに5回目となり、まず定着したといっていでしょう。時間割が変わり、休み時間が短くなり、宣伝や投票に使える時間が短くなったなか、スタッフの方々はよく頑張っておられ、またしっかりした投票結果が得られたと思います。

今年は100分授業がはじまりましたので(そのため休み時間が減ったのですが)、そこでの工夫をテーマに選びました。もちろん、10分の延長を感じさせないとの感想、また受賞した先生の様々な工夫がありました。しかし、正直なところ数はまだ多くはなく、暗中模索のところもあるのだと思います。ここに示されている内容を、是非参考にいただければと思います。

これまで、ただの人気投票や見た目の評価だけをもとにした意見・投票は対象外としてきました。しかし翻って考えてみますと、選ばれた先生はみなさん素敵な方ばかりで、やはり授業(だけではないですが)への取り組みへの意欲や努力を支える内面が見た目の印象にもにじみ出てくるのだと、再度実感しました。

本賞はベストティーチャーを選ぶことだけが目的ではありません。本当の目的は、多くの「ベストティーチャー」をいろいろな方向で、学生の声から育てることにあるように思いました。今後ともご支援、よろしくお願ひいたします。

**大野 達司**  
 教育開発支援機構長 法学部教授



**あなたにとっての  
 ベストティーチャーは誰ですか?**

法政大学では、実際に授業を受けている学生の声を参考に、2014年度より「学生が選ぶベストティーチャー賞」を実施しています。2018年度のテーマは

**“えっもう100分たったの!?”  
 ~〇〇先生半端ないって!~”**

10月24日(水)~11月16日(金)  
 の間に市ヶ谷・多摩・小金井の3キャンパスで投票を受け付けました。



実行委員会の学生FDスタッフが中心となって広報活動を行った結果、1,993件もの投票が集まり、10名のベストティーチャーが選出されました。また、学生が記入した投票理由の中から「ベストコメント賞」を12件選出しました。



**受賞教員紹介**

おめでとうございます!



**選出結果**

<b>教養部門</b>	阿部 朋恒 (兼任講師)	<b>グローバル・語学部門</b>	John Melvin (グローバル教養学部准教授)
<b>専門部門</b>	佐藤 恵 (キャリアデザイン学部教授)		富所 明秀 (兼任講師)
	佐野 俊夫 (生命科学部教授)	<b>特別賞</b>	内藤 淳 (文学部教授)
	澤田 唯人 (兼任講師)	<b>殿堂入り</b>	徐 玄九 (兼任講師)
	横山 斉理 (経営学部教授)		
	長原 豊 (経済学部教授)		

※教員身分は2019年3月13日現在のものです。

2018年度  
 学生が選ぶ  
 ベストティーチャー  
**教養部門**

- 主な担当科目: 文化人類学、文化人類学L
- 専門分野・研究テーマ: 文化人類学、エスニシティ、中国少数民族

兼任講師

**阿部 朋恒**



**受賞の感想**

思いがけない受賞には驚きの一言でしたが、学生の皆さんに評価していただけたことは素直に嬉しく、心から感謝いたします。今回の受賞を励みに、さらに分かりやすく身になる授業を聞いていただろうように努めたいと思います。

しぶりや環境づくりに工夫をしています。

**学生時代にやっておいた方が良いと思うこと**

これまで触れなかったことのない人、思考、情景にアプローチしてほしいと思います。旅でも、乱読でも、バイト三昧でも、はたまたお酒に溺れる経験でもいいかもしれません。新しい出会いは、きっと皆さんの可能性を広げてくれるはずですよ。

**おすすめの本 or 映画**

ミハエル・エンデ『はてしない物語』、小田実『何でも見てやろう』、沢木耕太郎『深夜特急』

2018年度  
 学生が選ぶ  
 ベストティーチャー  
**専門部門**

- 主な担当科目: コミュニティ社会論I、コミュニティ社会論II、演習(ライブ)、卒業論文(ライブ)、キャリア研究調査法(質的調査)、基礎ゼミ
- 専門分野・研究テーマ: 専門分野は、社会学、社会調査で、最新の研究テーマは、支援の社会学、社会問題の社会学、犯罪社会学です。

キャリアデザイン学部教授

**佐藤 恵**



**受賞の感想**

この度はほんとうにありがとうございます。わたしなどが受賞させていただいてよろしいのでしょうかという恐れ多い気持ちもありますが、学生さんの投票でお選びいただきましたことを、とても光栄に存じております。これを励みに、今後いっそう精進してまいりたいと思います。

**学生時代にやっておいた方が良いと思うこと**

社会学は「常識を疑う」ことを重視しますが、これはぜひ学生時代から意識的に行うようにしておくよと思います。ただし、「常識を疑う」ということは、何も、今まで誰も思いつかなかったような大発見をするということではありません。自分のものの見方・考え方の幅を広げ、自分にとっての新たな気づき・学びを得ていく実践を指します。そうした実践は、どのようなキャリアを築いていくにしても、必要不可欠なものですよ。

**おすすめの本 or 映画**

『源氏物語』: 社会学とはまた異なる世界ですが、古典から学べることは多く、そうした学びもまたとても楽しいものだと思います。

2018年度  
学生が選ぶ  
ベストティーチャー  
専門部門

- 主な担当科目：栽培植物学、植物生理生態学
- 専門分野・研究テーマ：植物生理学、植物細胞生物学

生命科学部教授

佐野 俊夫



受賞の感想

教員は毎週、教壇の上から学生の様子を見る立場ですが、学生からも見られていることを実感しました。よい意味で覚えてもらっていたことはうれしいことですが、逆に悪いことはできないと身が引き締まりました。

授業に心がけていること/工夫

一方的にしゃべると学生の反応や理解度がわからないので、穴埋め式テキストを作って順番に回答してもらっています。苦痛に思う人もいますが、皆さんとの対話が授業進行に役立っています。

学生時代にやっておいた方が良くと思うこと

夏休みに民宿でアルバイトをした経験があり、毎晩、お客さんとお話するために顔と名前を覚えていました。そんな経験が今になって役立つとは、何が役に立つかわからないものです。

おすすめの本 or 映画

時刻表 2万キロ(宮脇俊三)：とことんこだわって、自分のやりたことを成し遂げる本です。

2018年度  
学生が選ぶ  
ベストティーチャー  
専門部門

- 主な担当科目：社会心理学Ⅰ・Ⅱ(社会学部、現代福祉学部)
- 専門分野・研究テーマ：感情と行為の社会学、自傷行為をめぐるインタビュー調査、メタフォリカルな語りと行為の意味世界

兼任講師

澤田 唯人



受賞の感想

1年限りの代講で、かなり(宛先)を絞った内容の授業でしたので、このような賞に選んでいただいたのは驚きでした。みなさんが生きる感情的な困難、その社会的な成り立ちやゆくえを考えるのは、決して楽しい時間ではなかったと思うのに。ありがとう。

授業に心がけていること/工夫

任意提出のリアペに、翌週のレジュメで個別に返事を書き、毎回匿名で紹介をしていました。大教室の講義でしたが、どんな過去をもつ学生たちが「ここ」において、授業を通じてどんなことを考え、そこに向かって今日は「何が」話されているのか。そうした固有の文脈が、教員にも参加学生たちにもももっていたことではじめて伝えられたことがあったように思います。

学生時代にやっておいた方が良くと思うこと

ナンバー1でもオンリー1でもなく、誰かと比べてみせびらかしたりしないでもいい、そっと隠してしまっておきたいと願うような大切なことをみつけ始めましょう。それは、ほんのささやかな言葉や記憶かもしれない。まだ僕自身にもおぼろげなのだけれど、でもそういうものが確かにあるということ。「他者」の人生の物語に触れるなかで知ることが出来ます。そっと隠してしまっておきたい大切なことがある、そう思って生きるのと、そうでないのでは、きっとみなさんの人生をめぐる何かが変わっていくように思います。

おすすめの本 or 映画

【映画】是枝裕和監督『ワンダフルライフ』  
【書籍】最相葉月著『セラピスト』

2018年度  
学生が選ぶ  
ベストティーチャー  
専門部門

- 主な担当科目：流通論、寄付講座チェーンストア経営論、Distribution in Japan
- 専門分野・研究テーマ：流通・マーケティング

経営学部教授

横山 斉理



受賞の感想

驚きました。学生さんから選ばれたとのことで、大変うれしかったです。ありがとうございました。

授業に心がけていること/工夫

抽象的な概念をできるだけ身近な出来事に関連づけて説明するようにしています。あと、自分が楽しみながら話せることを題材にするようにしています。

学生時代にやっておいた方が良くと思うこと

何事にもチャレンジしてみるとよいと思います。ノリが大切です。興味がないこともやってみるといいかも。ご自身の興味関心は現時点のもので、それはこれから変わる可能性があるからです。

おすすめの本 or 映画

鴻上尚史『恋愛王』、中島らも『中島らものたまらん人々』、村上春樹『風の歌を聴け』

2018年度  
学生が選ぶ  
ベストティーチャー  
専門部門

- 主な担当科目：経済史 A/B・日本経済史 A/B・入門ゼミ・演習
- 専門分野・研究テーマ：現代資本主義(論)・経済理論・社会政治思想

経済学部教授

長原 豊



受賞の感想

学生の皆さんに褒めていただいたことをとても誇りに思います。何度いただいても、そのつど嬉しいです。学生の皆さん、ありがとう。

授業に心がけていること/工夫

講義は何よりもまず刺激的で面白いものでなければならぬと思っています。これを大前提に、講義には、私が学生の皆さんに伝えるべきだと信じている最低限の「知識」を、その周辺(の学問)領域も含めて可能な限り深く、盛り込むことを心がけています。

学生時代にやっておいた方が良くと思うこと

たくさんの本を読み、たくさん映画を観て、たくさん音楽を聴き、たくさん文章を書くこと。

おすすめの本 or 映画

①大友克洋の全作品。②高野文子『絶対安全剃刀』白泉社。③G・ドゥルーズ＋F・ガタリ『アンチ・オイディプス』上・下、河出文庫版。④同『千のプラトー』上・中・下、河出文庫版。⑤M・フォーコー『言葉と物』新潮社。⑥K・マルクス『資本論』岡崎次郎訳。

2018年度  
学生が選ぶ  
ベストティーチャー  
グローバル・語学部門

- 主な担当科目：Introduction to Tourism Studies, Event Management, Services Marketing
- 専門分野・研究テーマ：Tourism Management and Marketing

グローバル教養学部  
准教授

John Melvin



受賞の感想

Receiving such an award two years in a row is a huge personal honour. I was surprised to be nominated and it makes me very glad that students are finding my classes rewarding. It's a nice personal challenge to try and continue teaching at this level!

授業に心がけていること/工夫

Our smaller class sizes at GIS ensures that students have to play a more active role. As students acquire more knowledge and experience, it is rewarding to encourage them to take more responsibility for their learning. Through case studies and role play scenarios they must use their new knowledge to come up with effective solutions. It helps develop their critical thinking and problem-solving ability.

学生時代にやっておいた方が良くと思うこと

Enjoy the delight of experiencing new things and how this can enrich your life. Take advantage of all your opportunities to try, such as: exploring your creativity via music or art, challenging yourself through taking part in drama or debates, or getting an internship in an exciting new start-up company. It gets much harder to do these things as you get older and acquire more responsibilities.

おすすめの本 or 映画

The nonfiction book 'This Changes Everything: Capitalism vs. The Climate' is an important and revealing read for students about the socio-economic system they are growing up in, and how it is inherently unsustainable. It shows how and why we must change our way of life - this is a problem that students and their children will have to confront. It was written in 2014 by Naomi Klein, an American journalist, author and filmmaker.

2018年度  
学生が選ぶ  
ベストティーチャー  
グローバル・語学部門

- 主な担当科目：朝鮮語Ⅰ・Ⅲ
- 専門分野・研究テーマ：朝鮮語学(朝鮮語の助詞について)

兼任講師

富所 明秀



受賞の感想

私の授業は他の先生方とのリレー授業なので、今回の受賞と一緒に担当されている先生方との共同受賞だと思っています。受講生の皆さん、リレー授業の先生方、そしてサポートしてくださっている教授室スタッフの皆さんにお礼申し上げます。

授業に心がけていること/工夫

語学は暗記が必須ですが、ただ覚えるのではなく、個々の事項との関連性を感じてもらえたら嬉しいです。

学生時代にやっておいた方が良くと思うこと

「やってみたからわかること」、「続けてみたらわかること」はとても尊いものだと思います。その「わかること」とは単なる知識ではなく新しい自分に出会うことだと思っています。知力・体力共に充実している大学生活でぜひ皆さんの新たな自分と出会ってください。

おすすめの本 or 映画

茨木のり子『ハンゲルへの旅』 朝鮮語を学ぶことが珍しかった時代に、詩人である著者が出会ったハンゲルと朝鮮の人々への優しいまなざしに気持ちが和みます。またこの随筆だけでなく、茨木さんの詩は私が大学生のころ、つらいときいつも手に取っていました。私は特に「汲む Y・Y に」が好きです。

2018年度  
学生が選ぶ  
ベストティーチャー  
特別賞

●主な担当科目：法哲学 A・B、法学Ⅰ・Ⅱ、哲学演習 11  
●専門分野・研究テーマ：法哲学、人間本性の進化心理学的研究、それに基づく法の土台の研究

文学部教授  
内藤 淳



受賞の感想

特別賞は100分授業に関する投票コメントの評価によるものとのことで、とても嬉しく思っています。コメントを書いていた学生の方々に深く感謝したいです。

授業に心がけていること/工夫

100分もの長時間の授業を受ける学生の皆さんの忍耐を慮ること。

学生時代にやっておいた方が良くと思うこと

勉強。

おすすめの本 or 映画

森村進『幸福とは何か 思考実験で学ぶ倫理学入門』ちくまプリマー新書、2018年

2018年度  
学生が選ぶ  
ベストティーチャー  
殿堂入り  
(3年連続受賞)

●主な担当科目：社会学Ⅰ・Ⅱ、社会学 LC・LD  
●専門分野・研究テーマ：政治社会学、とくに東アジアにおける市民社会および政治文化の特質

兼任講師  
徐 玄九



受賞の感想

「何度も言うよ♪残さず言うよ♪」有難う！謝謝！Thank you! Gracias! Dank! Merci! 고맙습니다! あ！ごめんなさい。約6890の言語を残してしまいました。受賞の感想で3年連続悩みました。それなのに学生には毎回のリアクションペーパーで受講感想を書かせてごめんなさい。

授業に心がけていること/工夫

「喋啄同時」を目指し、学生と「合作」する授業を心がけています。授業支援ボックスのリアクションペーパー利用、質疑応答、朗読、実演に加え、学生の理解力や想像力を高め、集中力を保つため紙芝居(短い映像)を活用しています。

学生時代にやっておいた方が良くと思うこと

田中将大の防御率ほどのGPAでも、武道館行きが1年遅れてもいい。大学生生活を「White Elephant」にしないために昨年の言葉を反復します。「恋」・「旅」・「遊」と書いて「勉強」と読みます。これで「勉強」をした者は「家」を屋根→柱→土台ではなく、土台→柱→屋根の順に描きます。

おすすめの本 or 映画

本は戦後日本社会の「初心」が読み取れる丸山真男『(新装版)現代政治の思想と行動』(未来社、2006)を、そして映画は戦後を生きるわれわれに「考え続ける」ことの重要性を考えさせる『ハンナ・アーレント』(2012)をお薦めします。

先生方、  
貴重な情報を  
ありがとうございました。



選出理由 (抜粋)

授業への熱がすごい。普通の人ではしていなかったような体験談をしてくれるのがとてもおもしろい。

知識がたくさんあって面白いから。色々な話をしてくれて、面白い本も進めてくれて、毎回の授業が楽しかった。

前職の経験からなのか話がおもしろい、人に聞かせるための話し方をしてくれる。授業のテーマも身近でおもしろいものをえらんでくれておもしろい。

授業を受けている学生全員の名前を憶えてくださっているのがすごいです。丁寧に常に学生目線で考えてくれます。

授業が工夫されていて優しい。学生とコミュニケーションをとってくれて面白い。

毎回の講義内容がとても豊富で充実した時間を過ごせる。資料映像や映画考察、ゲストティーチャー講義など講義が単調にならない工夫が多くされており、聴講している学生を飽きさせない。リアペへの返答がとても丁寧に講義以上に学生の思考意欲を高め、知的好奇心を刺激する。

いろいろな工夫や  
取り組みを行っています!

先生の具体的な体験談はもちろん、私たち学生がイメージしやすい題材を取り扱ってくれるので、非常に楽しいため。あつという間に授業が終わるし、もっともっと長く授業してほしい!

授業がテキパキしていて、覚えるべくところがはっきりしている。担当授業のこのみならず、ゼミのことや、経済学全般についての話を授業内でしてくれるので、役に立って、分かりやすい。

話が面白くて授業も簡潔で分かりやすい! 100分なんてあつという間!

学生の意見をしっかり取りまとめてくれる。そこにいるだけで議論が活発になる先生です。

授業にメリハリがある。「考える時間」「話す時間」「雑談(息抜きタイム)」「教わる時間」の配分が神。100分間、頭をフル回転してられる。

どの立場の意見も尊重したうえで、理論的に理解しやすく説明してくれるから。

先生の考え方やお話はいつ聴いてもずっと飽きません。丸一日聴いていられます。生徒想いでユニークな方です。

※こちらの選出理由は、基本的に投票された学生のコメントをそのまま掲載していますが、個人が特定できるコメントには一部修正を加えています。

# 活動の様子と表彰式・授賞式

学生FDスタッフ  
担当教員からの  
メッセージ



川上 忠重

教育開発支援機構FD推進センター  
学生FDスタッフ担当教員 理工学部教授

今年でトライアルから5回目となる「学生が選ぶベストティーチャー賞」の受賞者の決定および授賞式を学生FDスタッフとともに無事に終了することが出来ました。今年度は、市ヶ谷キャンパスでは、昼休み時間の短縮や学生の動線の変更もあり、投票数が心配される中での実施でしたが、約2,000件の投票があり、学生の「教員への期待を含めた貴重な意見の場」としての役割を、あらためて実感することが出来ました。

2018年度は、「えっもう100分だったの!?〜〇〇先生半端ないって!〜」をテーマとして、今年度から導入されている「100分授業」での先生方の「授業での工夫」を含めたものでしたが、各部門(教養、専門、グローバル・語学)の授業形態だけでなく、多くの学生が個別の授業での「教員の授業に取り組む姿勢や熱意」を100分の授業内で学生の観点から、敏感に感じ取っており、具体的な内容を含めて、出来るだけ多く紹介する機会を学生FDスタッフとともに検討し、既に一部ポスター形式で展示(自由記述欄)させていただきました。

学生から教員への「授業への想いや気づき」を伝える1つの「場」が「学生が選ぶベストティーチャー賞」です。是非、皆さんのからの「大学での学び」を含めた貴重な意見を聞かせてください。学生FDスタッフ一同、2019年度の投票も、心からお待ちしています!

2018年10月24日(水)~11月16日(金)、学生FDスタッフが3キャンパスで投票の呼びかけを行うなど、広報活動を展開しました。

## 3キャンパスでの実施の様子



▲市ヶ谷キャンパス



▲小金井キャンパス



▲多摩キャンパス



11月29日(木)に選考を行い、12月26日(水)に表彰式・祝賀会を開催しました。

## 表彰式・祝賀会




▲開会の挨拶をする廣瀬常務理事



▲主旨説明をする大野機構長


## 2018年度 学生が選ぶベストティーチャー賞実行委員会 学生FDスタッフ紹介

**會澤 佳祐**  
法学部法律学科4年




活動中に嬉しい事がありました。それは、「去年もやっただやっだ!」という声をいくつか聞いたことです。今年でベストティーチャー賞は5回目になりました、少しずつですが広がりは始めていますと実感しました。学生FDスタッフとしての活動が学校環境の改善に少しでもつながればと願っています。

**西村 涼**  
法学部政治学科3年



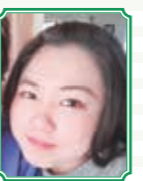
ベストティーチャー賞も5回目となり、多くの方に認識していただけるようになってきました。先生方、職員さん、学生から様々な反響があることは嬉しい限りです。しかしながら、学生スタッフにも高齢化の波が押し寄せております……このコメントを読んで下さった方! 私達と一緒にFD活動しませんか?? 詳しくはホームページをご覧ください!

**渡邊 茉里奈**  
法学部国際政治学科3年




今年も沢山の方に投票に参加していただき嬉しく思います。ありがとうございます。毎年、ベストティーチャー賞の認知度が少しずつ上がり、投票時に嬉しい声が聴えて来るようになりました。残念ながら私がベストティーチャー賞に携われるのは残り1回ですが、次回は沢山の方に参加していただけるよう尽力したいです。

**安河内 幸佳**  
文学部日本文学科3年




今年から始まった100分授業について取り上げようとテーマを工夫し、いつもとは違った先生が選ばれたのが新鮮で面白いなと思いました。三年目になり、後輩が増えて一年目二年目とはまた違った役割を持って一年だったと思います。

**大堂 由貴**  
文学部日本文学科3年




今年も魅力的な授業をおこなう先生が学生によって選出された事に、喜びを覚えています。私はこのBT賞の選出及び投票活動には三回目の参加となります。毎年選出される先生もいっしょに、新たに選出される先生もいっしょに、様々な学生の声を聞いたような気がして嬉しく思っています。来年度のBT賞もよろしく願っています!

**石澤 祐輝**  
経営学部経営学科3年




私は今年FDに加入した為、初めてのベストティーチャー賞でした。FDの活動を通してこの企画をより多くの人に知ってもらい、今後さらに影響力のあるものになるように努めたいと思います。また、法政大学の授業がこの活動を通してより良いものになるように頑張ります!

**塩崎 莉央**  
人間環境学部人間環境学科3年




私は今回が初めてのベストティーチャー賞でしたが学生スタッフや職員の皆様、学生の皆様の法政大学に対する思いに触れることができ、貴重な経験となりました。今後のベストティーチャー賞のさらなる発展を期待しております。

**山口 美南**  
法学部政治学科2年



今年は私自身初めてベストティーチャー賞(BT賞)に携わりました。ブースではたくさんの方に投票して頂いて楽しく活動できました。2019年度は2018年度よりも投票数を伸ばせるようにさらに活発なBT賞を創っていきたくです。また2019年は今回よりも主体的に活動しBT賞を始めFD活動にもっと貢献したいと思っています。

**松本 桃花**  
社会学部社会学科2年




ベストティーチャー賞は今年で2回目の参加となりました。学内での認知度が上がってきているので今後はベストティーチャー賞を選出するだけでなく、この結果を授業選びの参考とする人を増やしていきたいです。そしてベストティーチャー賞が自分の通っている多摩キャンパスでも広まるように活動していきたいです。



学生FDスタッフは、ベストティーチャー賞をはじめ授業の改善を目的に様々な活動を行っています。




**芹澤 大輔**  
キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科2年



私は初めての参加となりましたが、主体的に企画立案を行う学生FDスタッフの皆様やベストティーチャー賞に積極的に関わる法大生や教職員の方々の姿勢に、この賞の意義を学んだ1年となりました。来年度はより積極的に参加し、ベストティーチャー賞がより良いものになるよう頑張ります!

**永田 有咲**  
人間環境学部人間環境学科1年



私にとって、今年が初めてのベストティーチャー賞でした。ベストティーチャー賞に運営側として関わることによってより大学の授業や様々な先生方の考えについて関心を持つことができました。

# ベストコメント賞 発表



2018年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」に、  
ご投票いただいた皆様ありがとうございました。  
1,993件の中から、12件の投票理由を  
「ベストコメント賞」として選出いたしました。



遅れて来た人や話してる人、授業態度が悪い人に対してきちんと注意していただき、本気で勉強したい人のサポートをしてくださるので授業を真剣に受ける気持ちになれます。次に授業内容自体も、難しい分野であるにも関わらず基本となる他の法律の知識を解説しながら丁寧に教えてくださるのでとても分かりやすいです。さらに、授業の内容から派生する実務的な内容を挟んだり、法律の歴史的経緯なども教えてくださるので飽きることなく授業を聴けます。

授業へのモチベーションが上がりますね！

毎年毎年大人気の先生です。本当にたのしく知的でウィットに富んだ先生の授業は限でも出席率がかなり良いと思います。先生手作りの動画もみせてくれて、大変クリエイティブな先生であることがわかりますね！！社会の当たり前を疑うところからはじまる先生の授業を受ければあなたも普段の景色の見え方が変わるはず。

多くの学生から人気があることが伝わってきます！

イギリスの歴史がまるで物語を読んでいるかのようにスッと頭に入ってくる講義がとても印象的でした。この出来事があったから後のこの出来事につながった、というところも講義のなかで伏線を張ってくださっているのでもとても分かりやすく、本当に伏線回収が鮮やかな本を読んでいるかのように興味深かったです。人生で初めて、この先生の本が読みたいと思えた先生でした。

本のような授業・・・受けてみたいです！

一般企業に勤務されていた経験を基に、グローバルに働く上で欠かせないスキルを教えてくださいました。また、効果的なプレゼンテーションや、相手に重点をおいたコミュニケーション方法など、どれも実生活で役立つ内容ばかりでした。授業は全て英語で行われ留学生も多数おり、ハイレベルな学習環境であることも魅力です。この科目で学んだことはすぐに他の科目でのプレゼンに応用することができました。

勉強したことが活けると嬉しい！

職業規則について考えた授業では、現在の労働環境について考えさせられました。他にも、労働法に関して、判例を読みとくことによって、知識を深められたので良かったです。授業では、少人数のため、1人ひとり、意見を聞いてくださってわかりやすいです。内容が行き詰った際には、優しく補足して下さるのもとても良いところです。

行き詰った時にも補足してくれると  
学生は嬉しいですね！

教職科目の先生なので全員が受けられないのが本当にもったいないと思うくらいおもしろいし、ためになる授業をしてくれそうです！！また、教室内を歩きまわって学生にあてまくるのでめっちゃめっちゃ仲良くなれます！今学期(春)では全く関わりのなかった人のおもしろいところとかをいじって笑いをさそっていました。努力して来た人を評価してくれるところも大好きなポイントです！

先生への愛情が伝わってきます！

親身な先生の個別対応とAI×五感というとても面白いテーマで授業も工夫されており、あっという間の時間でした。①毎回違うテーマで事例を出してもらい、課題を与えられるが、1人1人の考えを聞いて回り、1対1という感覚で、私(個人)を見てくれているという感覚が強く、嬉しかったです。ゲストも世界で活躍される方々やあまり出会うことのできない方とお話ができ、とても充実した時間になりました。1人1人を大事にもらえるから、全体の雰囲気もよく、知らない人とも仲良くなりやすい授業だと感じます。②AIということで、文系の私たちには疎遠な世界を身近に感じさせてもらえて、新しい世界や進路の選択のきっかけになりました。③先生自身の魅力に惹かれました。先生のゼミがあれば、是非とも入りたかったです。

個人の意見や考えに耳を傾けてくれると  
やはり嬉しいですね！

「生きた知識」は大切ですね！



単に語学という知識のみを習得することだけを目標とするのではなく、「実際に話されている」言語を学ぶことができるため。授業内では地域別の訛りや表現の差異を学んだり、文化に関するスペイン語のビデオを見たりしている。又、先生の経験なども知ることができ、とても興味深い。

先生が授業中におっしゃっていた「単語を記憶するだけでは意味がない。理論を知り、使える力を養うことが重要だ」という言葉に感銘を受けたからです。授業の際には、先生が一方的に話すだけではなく、学生たちに疑問を投げかけ、考える時間を設けることで、意識的に学生たちに考えさせる工夫をしてくださりました。それ以来、先生がおっしゃったことを丸暗記するのではなく、今までの経験や知識を使って考えるようになり、勉強が楽しくなりました。

何のために学ぶのかを考えさせてくれる素晴らしい先生◎



先生冥利に尽きる  
コメントですね！

教材の内容だけでなく、社会に出てからの話や人生について教えてくれます。毎回の授業はとても面白く、学生に内容が定着するまで色々な工夫をしてくれます。大学のあるべき姿や、社会に出てから重要なことなど、学ぶことが本当に多いです。道端で会ったときもとても丁寧に対応してくれました。「こんな教員になりたい」と心から思っています。

授業を受けて感動するという概念が今までなかったのにもかかわらず、この授業は共感することや、感心することが多く、映画をみたような心にも染み入るようなものがあった。また、毎回違うテーマについて70人くらいいる中で討論することで、自分とはちがう考え方や価値観を学ぶことができたからである。

新しい価値観との出会いは新鮮で楽しいですね！

今まで理系科目で挫折に挫折を重ねていた私が、果たして物理学の内容を理解することができるのだろうか？先生の授業を受けて、そんな不安が杞憂であったことを感じています。この科目は文系の学生を対象とした物理の授業なので、公式や数値以上に言葉を用いた説明を重視しています。先生のお話はいつも筋が通っていて、情報が錯綜することがありません。さらに、内容が理解できていない学生がいれば(これはだいたい私なのですが)別の言葉で言い換え、視点を変えながら丁寧に解説してくれます。数学が大の苦手で、それまで物理に触れたこともなかった私でも、先生の授業では「分かる！」という実感がありました。先生は授業中いつもこやかに話をされていて、そんなところからも本当に物理のことが好きなんだと伝わってきます。所属学部で授業では触れることが無い物理の世界に一步を踏み出すきっかけとなったのが、先生であったことがとても嬉しいです。先生の授業を受けることができ本当に良かったと感じています。

苦手分野への一步を踏み出させてくれた素敵な先生◎

今年度もみんなに  
会いに行きたいピョン!



2019年度も  
「学生が選ぶベストティーチャー賞」  
を実施します!

受けてよかった  
授業を  
ぜひ他の人に  
教えましょう!

あなたにとっての  
良い先生に  
ぜひ投票して  
ください!

私たちの  
「ベストティーチャー」  
を選出しましょう!

先生への感謝を  
投票に込めて!

学生FDスタッフは  
随時募集して  
おります。

• 2019年3月発行 •

法政大学教育開発支援機構FD推進センター（事務局：学務部教育支援課）

東京都千代田区富士見 2-17-1

E-mail: kyoiku@hosei.ac.jp

TEL: 03-3264-9040